

建設新技術 活用促進フォーラム 2007

11/28(水)
13:30-17:00

(受付・ポスターセッションは13:00～)

会場 / 全国都市会館 2F大ホール
東京都千代田区平河町2-4-2 TEL 03-3262-5231

暮らしの安全確保、環境保全、地域活性化・・・
時代と共に、地域の発展と共に現れる様々な課題。
日本の建設技術は、その解決に全力で応えてきました。
日本の、ひと・まち・暮らしを支える建設技術は、
世界を支える技術となり、動きはじめています。

技術が動く、世界が動く。

プログラム

▶ 基調講演

「技術的ものの見方と国土学」

(財)国土技術研究センター理事長
大石 久和 氏

▶ パネルディスカッション

テーマ「新技術、評価から活用へギアチェンジ」
～新技術の活用を促進するために～

コーディネータ 関東地方整備局 新技術活用評価会議 座長
東京理科大学名誉教授 大林 成行 氏

パネリスト 民間事業者(開発者・施工者)、地方公共団体、
国土交通省職員等

▶ ポスターセッション

技術事務所が行っている技術開発、調査・試験成果の展示

参加申込み及び詳しい
情報はこちら⇒⇒

*参加費は無料です。

<http://www.2007newtech.jp/>

建設新技術

検索

建設新技術活用促進フォーラム 2007

11.28(水)

13:30~17:00

(受付 13:00~)

本フォーラムは、基調講演やパネルディスカッションを通じて、建設技術開発の一層の推進及び、公共工事への更なる新技術の活用促進を図るために行うものです。

パネルディスカッションでは、多くの工事で効果を発揮した新技術の活用事例と、その技術開発や採用にあたっての工夫や問題点を中心に、民間事業者（開発者・施工者）、地方公共団体、国土交通省等で構成するパネリストにより、意見交換を行います。

13:30 開 会

13:30~13:40 開会挨拶

13:40~14:40 基調講演



「技術的ものの見方と国土学」

(財)国土技術研究センター理事長 大石 久和

1970年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
1970年 建設省入省
1993年 国土庁計画・調整局総合交通課長
1995年 建設省道路局道路環境課長
1996年 建設省大臣官房技術審議官
1999年 建設省道路局長
2002年 国土交通省技監
2004年 財団法人国土技術研究センター理事長
(2004年10月 早稲田大学大学院公共経営研究科客員教授)
(2005年2月 東京大学大学院情報学環特任教授)
現在に至る

●主な著書

「国土学事始め」(毎日新聞社出版) 週刊「サンデー毎日」にて「国土のかたち」連載中

14:50~16:50 パネルディスカッション



「新技術、評価から活用へギアチェンジ」 ～新技術の活用を促進するために～

コーディネーター

国土交通省関東地方整備局 新技術活用評価会議 座長
東京理科大学名誉教授 大林 成行

1967年 神戸大学工学部修士課程土木工学専攻科修了
1967年 建設コンサルタンツ入社
1975年 東京理科大学理工学部、助教授、教授(2002年～名誉教授)、
リモートセンシング研究所所長
2000年 株式会社国土情報技術研究所 代表取締役社長
2002年 香川大学客員教授
2005年 NPO法人「E&Cフォーラム」理事長
2007年 Green Flag Japan 理事長
現在に至る

●現在の主な専門活動

みらい国土新技術フェア関東運営委員会委員長／技術研究開発評価委員会委員
／建設工事事故対策検討委員会委員

16:50~17:00 閉会挨拶

17:00 閉 会

13:00~17:00 ポスターセッション

会場へのアクセス

会場:全国都市会館 2F大ホール
東京都千代田区平河町2-4-2

TEL:03-3262-5231

アクセス

- 地下鉄 有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩3分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」
5番出口より徒歩4分
丸ノ内線・銀座線「赤坂見附駅」
D出口(弁慶口)より徒歩7分
- JR線 「四ッ谷駅」麹町口より徒歩15分



建設新技術活用促進フォーラム 2007 参加方法

●ホームページにアクセスの上、お申し込みください。(参加費は無料です。)

<http://www.2007newtech.jp/>

建設新技術

検索

主 催／国土交通省

お問合せ先／国土交通省 関東技術事務所 技術課

千葉県松戸市五香西6-12-1 TEL.047-389-5123